

機械学習を用いた新生児医療の予後予測アルゴリズムの作成とその有用性の検討

1. 研究の対象

2003年～2018年までに山梨県立中央病院 NICU へ入院した在胎 32 週未満または出生体重 1500g 以下の新生児

2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究機関の長の許可日～2026年3月31日

対象患者の臨床情報を診療録から収集し、ランダムフォレストなどの機械学習的手法を用いて、周産期合併症の発症および予後予測のアルゴリズムを作成する。作成したモデルの予測精度を評価するとともに、周産期合併症の発症・重症度に関する寄与度の高い項目について検討する。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：母体情報や在胎週数などの診療録情報、検査データなど

4. 外部への試料・情報の提供

研究施設へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

【研究代表者】

所属：山梨大学医学部 新生児集中治療部 職名：助教 氏名：赤羽 弘資

【研究協力機関及び研究協力者】

所属：山梨県立中央病院 新生児内科/内科系第二診療統括部 職名：副部長 氏名：内藤 敦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

研究責任者（当院）：

山梨県立中央病院 新生児内科 内藤 敦

研究代表者：

山梨大学医学部 新生児集中治療部 職名：助教 氏名：赤羽 弘資